



平成29年3月から新しい高機能消防指令システムの運用を開始します



湖南広域消防局では、平成27年度からの2カ年事業として高機能消防指令システムの更新整備を進めており、平成29年3月から運用を開始します。

高機能消防指令システムの更新により、最先端の自動出動指定装置及び地図検索装置を指令台に取り入れ、各周辺機器と連結させることによって、正確性、操作性を向上させ、災害に対しスピーディな対応が可能となります。



KONAN FIRE STATION



消防局・中消防署



中消防署出張所



東消防署



東消防署出張所



西消防署



南消防署



北消防署



北消防署出張所

- ★消防局——栗東市小柿三丁目1番1号 Tel.077-552-1234
- ★中消防署——栗東市小柿三丁目1番1号 Tel.077-552-0119
(消防局と併設)
- ★中出張所——栗東市御園字伝坊1926番地 Tel.077-558-0119
- ★東消防署——野洲市辻町488番地 Tel.077-587-1119
- ★東出張所——野洲市西河原2400番地 Tel.077-589-3119
- ★西消防署——草津市上笠町477番地1 Tel.077-568-0119
- ★南消防署——草津市野路九丁目1番46号 Tel.077-564-4951
- ★北消防署——守山市石田町377番地1 Tel.077-584-2119
- ★北出張所——守山市洲本町字山科1260番地 Tel.077-585-0119

湖南広域消防局は琵琶湖の南部に位置し、豊かな自然と歴史文化に恵まれた草津市・守山市・栗東市・野洲市を管轄しています。

地理的・歴史的・行政的につながるの深い4市が連携し、管内住民の安心・安全を守るため、効率的な消防防災行政に取り組んでいます。

人口データ (平成28年4月1日現在)

	人口	世帯数
草津市	130,485	55,386
守山市	81,467	30,597
栗東市	67,631	26,252
野洲市	50,756	19,166
合計	330,339	131,401



湖南広域消防局

〒520-3024 滋賀県栗東市小柿三丁目1番1号
TEL077-552-1234 FAX077-552-0988
<http://www.konan-kouiki.jp/>



平成28年 消防白書



あなたとともに
地域を守る



湖南広域消防局



【火災は前年比 2 件減少】

平成27年中の火災件数は64件で、前年と比較して 2 件減少しました。この10 年では、平成18年以降おおむね減少傾向となっています。

【出火率は1.94件／万人】

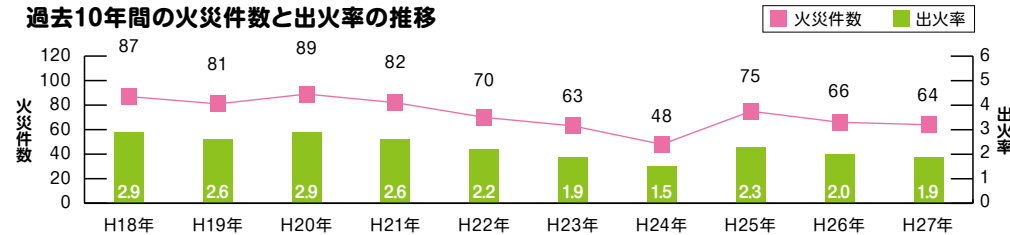
平成27年中の出火率（人口1 万人当たりの出火件数）は1.94件で、前年と比較して0.6件減少しました。昨年に引き続き、全国平均3.05件（平成27年数値）及び滋賀県平均2.85件（平成27年数値）を大きく下回りました。

【出火原因で最も多かったのは「たばこ」】

平成27年中の出火原因は、「たばこ」が9件で最も多く、次いで、「放火（疑い）」が7件、「たき火」、「天ぷら鍋放置」及び「コンロ」が6件となりました。



過去10年間の火災件数と出火率の推移



【救助出動件数は前年より減少】

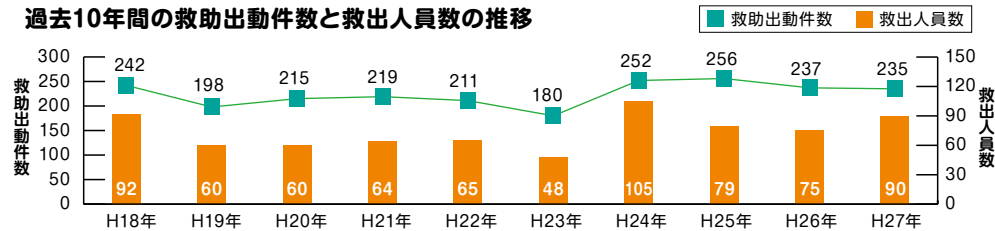
平成27年中の救助出動件数は、235件で前年と比較して 2 件減少しました。このうち最も多いのは「交通事故」の69件で、次いで「火災」の61件、「建物等による事故」の31件となりました。

また、「水難事故」が18件でここ10年間で最も多い件数となりました。

【90人を救出】

平成27年中の救助出動件数235件のうち、救助活動を行った件数は86件で、90人を救出しました。

過去10年間の救助出動件数と救出人員数の推移



【救急出動は40分に 1 件】

平成27年中の救急出動件数は13,228件で、前年と比較して534件増加しました。1 日あたり36.2件、約40分に 1 件の割合で出動しています。人口増加や高齢化の進展により増加傾向にあり、今後もさらに増加することが予測されます。

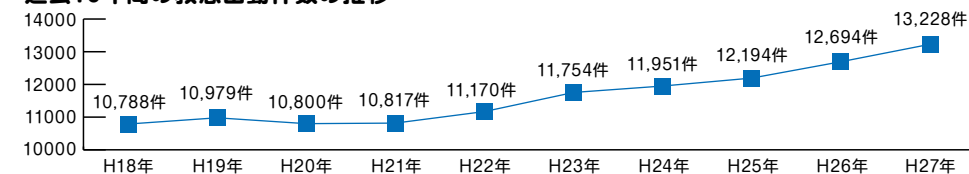
【救急搬送の 6 割が軽症】

平成27年中の救急搬送の種別は、「急病」が最も多く全体の65.7%、次いで「一般負傷」が13.2%、「交通事故」が12.4%となりました。また、救急車で搬送した傷病者の約 6 割が入院を必要としない軽症患者であり、救急車を必要としている重篤な傷病者のためにも救急車の適正な利用にご協力をお願いします。

【救命率が27.3%】

平成27年中に救急搬送された心肺停止症例231件のうち、市民の目撃がある心原性（心臓に原因があるもの）の症例は22件でした。そのうち、応急手当や救急隊員による救命処置等により回復し、その後1 ヶ月以上生存された方の割合は27.3%（6 件）でした。医療機関との緊密な連携のもと、高い救命率の維持に努めます。

過去10年間の救急出動件数の推移



【119番受信は29分に 1 件】

平成27年中の119番受信件数は18,043件で、前年と比較して577件増加しました。

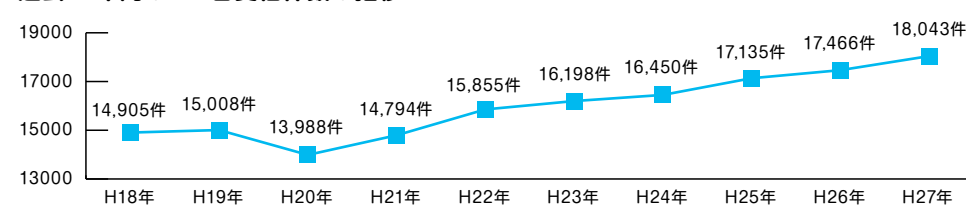
1 日あたりでは49.4件、約29分に 1 件の割合で119番受信がありました。この10年では、平成20年まで減少傾向にありましたが、それ以降 7 年連続で増加しています。

【総受信の約 7 割が救急要請】

平成27年中の119番受信件数の内訳は、「救急」が全体の67.7%、「火災」が全体の0.8%となりました。また、「いたすら」や「無言等間違い」、「問い合わせ」等の目的外受信は、全体の18.8%となっています。

	受信件数
火 災	148
救 急	12,214
救 助	61
災害その他	162
問い合わせ	1,505
無言等間違いいたすら	1,648
回線試験通報訓練	2,069
そ の 他	236
合 計	18,043

過去10年間の119番受信件数の推移



【492自治会が自主防災組織を結成】

平成28年 4 月 1 日現在、管内501自治会中492自治会で自主防災組織が結成されています。自治会ごとに担当者を置く、地域担当制度により、自治会との密接な関係を図りながら平成26 年度策定した、防災基本指針に基づく各種訓練を指導するなど地域防災力の向上に努めています。

【年間10,601人が地震体験】

平成27年度中に自治会や事業所、学校等が実施する防災訓練に防災指導車（グラドン号）が217回出向し、10,601人が過去に発生した地震の揺れを体験されました。

		草津市	守山市	栗東市	野洲市	合 計
①	自治会数	208	70	131	92	501
	自主防災組織数	202	70	128	92	492
	結成率	97.1%	100%	97.7%	100%	98.2%
②	消防訓練	253回	147回	108回	131回	639回
	DIG 訓練	16回	10回	5回	12回	43回
	シナリオレス訓練	53回	20回	18回	19回	110回

①平成28年4月1日現在 ②平成27年度中の訓練実施回数

※D I G訓練…地図上で地域の危険箇所等を把握する訓練

※シナリオレス訓練…その場で訓練想定が与えられる訓練



【333件の不備事項が改修】

平成27年度中の建物等への立入検査総数は2,307件で、そのうち710件の不備事項を認めました。これらに対し、平成26年度に覚知した不備事項も含め、違反是正指導を行った結果、333件の不備事項が改修されました。

【住宅用火災警報器設置率は85.1%】

管内の設置率は平成27年 6 月 1 日現在85.1%で、全国平均81.0%、滋賀県平均81.3%を上回り、奏功事例も多数報告されています。今後も住宅用火災警報器の設置の促進及び設置から10年が経過した場合の本体取り替えを推奨します。

平成28年 3 月31日現在

	防火対象物数	危険物施設数
草津市	3,888	274
守山市	2,287	328
栗東市	2,960	250
野洲市	1,805	228
合 計	10,940	1,080

